

6. 福島支店 福島民報 (7/24)

県内障害者支援
2団体に30万円
損保ジャパン財団助成

損保ジャパン記念財団
は二十三日、障害者らの
支援を行う県内の二団体
「宙(そら)の仲間たち」
(郡山市富久山町)と「な
のはなの家」(同市安積
町)に助成金各三十万円
を贈った。

同財団は社会福祉活動
を行うNPO法人の設立
資金を助成している。今
年度の贈呈先として全国
の九十八施設とともに選
ばれた。

贈呈式は福島市の損保
ジャパン福島支店で行わ
れ、島丈夫支店長が「宙

の仲間たち」の兼田富美
子設立代表者と、「な
のはなの家」の佐藤敦子所
長に助成決定通知書を手
渡した。



通知書を手にする(右
から)佐藤さん、兼田
さんと島支店長



「宙の仲間たち」は今
年四月から、障害者と子
どもたちが畑で無農薬野
菜を作るなど、ふれあ
いの場を設けたほか、知的
障害者のデイサービス実
施を計画している。「な
のはなの家」は聴覚障害
者や重複障害者が牛乳パ
ックをはがき、名刺、便
せんなどに加工し、販売
している。聴覚障害者を
中心としたデイサービス
事業を来年度から始める
こととしている。

二団体とも来年四月の
NPO法人化を目指して
いる。

7. 群馬支店 上毛新聞 (8/8)

贈呈式後の懇談の時間では、贈呈先の方から生の声を聞くことができ、活動の意義深さを感じました。

また、来賓の福祉協議会の方からは、『もっとこの記念財団の存在を広めたほうがよい』とのコメントを頂きました。

[群馬支店] 伊藤 芳江さん

2団体にNPO
法人助成金贈呈
損保ジャパン記念財団
損保ジャパン記念財団
(平野浩志理事長)は、前
橋市本町の損害保険ジャパ
ン群馬支店(宮下佳蔵支店
長)で本県分の「NPO法
人助成金贈呈式」を行った。

助成金を受け取ったのは、地域生活サポートネット「さやけき」(群馬町棟高、中野和典代表)と藤岡ホーム(藤岡市西平井、須郷信雄代表)の二団体。それぞれに三十万円が贈られ、「さやけき」の小野木謙介さんと藤岡ホームの須郷さんに目録が手渡された。NPO法人設立資金として使われる。全国で二百六十五件の応募があり、二団体など百件が選ばれた。



助成金の目録を受け取った小野木さん(前列左から2番目)と須郷さん(前列左から3番目)

8. 金沢支店 北國新聞 (7/31)

佐藤支店長(右)から
決定通知書を受け取る
福森代表(左) 金沢
市香林坊一丁目の損保
ジャパン金沢支店



NPO設立へ助成
損保ジャパン財団
財団法人損保ジャパン
記念財団は三十日、金沢
市で活動する金沢メンタ
ルヘルスボランティアアク
ラブ(KMC)にNPO
法人設立の資金として三
十万円を助成した。
同財団は、民間での福
祉活動推進を目的に、一

九九九年からNPO法人
設立資金助成に取り組ん
でいる。KMCは金沢市
の精神保健ボランティア
講座修了生を中心に料理
教室を通じた交流や作業
の支援などの活動を行っ
ている。来春、市内で作
業所を開設するために、
NPO法人設立の準備を
進めている。
贈呈式では、損保ジャ
パン金沢支店の佐藤彰彦
支店長が「資金を有意義
に活用してほしい」と福
森隆子代表に助成決定通
知書を手渡した。

民間ボランティア活動では限界があっ
て為し得ない事を、助成活動を通じて
支援出来る事に誇りと喜びを感じるとと
もに、これら社会貢献活動を地域社会
の方々にもっとアピールして行きたい
と感じました。

[金沢支店]

リーダー(業務)

有田 智史さん

9. 富山支店 北日本新聞 (8/9)



愛和報恩会の吉田
勇次郎代表(左か
ら3人目)に助成
決定通知書を手渡
す西沢敏二損保ジ
ャパン富山支店長
 富山市本町の同
支店

愛和報恩会(尾)に
助成金贈呈へ
損保ジャパン記念財団
東京都の損保ジャパン
記念財団(平野浩志理事
長)が毎年行ってい
る社会福祉団体

への助成の対象団体がこ
のほど決まり、県内から
選ばれた八尾町のグルー
プ、愛和報恩会に八日、
決定通知書が、富山市本
町の損害保険ジャパン富
山支店で贈られた。
助成は、同財団が昭和
五十二年の創設時から行
っており、二十六回目。
本年度は、特定非営利活
動法人(NPO法人)の
設立資金として百の団体
に三十万円を助成する。
同会は平成九年に発足
し、障害者の作業所と寮
を八尾町西川倉で運営

今回初めて贈呈式開催に携わり、改めて
損保ジャパン記念財団及び当社が社会貢献
活動に力を入れている事を肌で感じる事が
でき、とても意義深い貴重な経験をさせて
いただきました。

助成先団体との贈呈式開催の打合せに始
まり、県及び町の社会福祉協議会への働き
かけや地元マスコミへのニュースリリ
ース、そして贈呈式の細かい準備関係等、全
て初めての経験で戸惑う事も多々ありまし
ましたが、支店長席をはじめ課支社のみなさん
のご協力のもとに、何とか滞りなく贈呈式
を開催する事ができました。

その中で、S Jグループの社会貢献活動
について、助成先団体の方々や社会福祉協
議会の方々そして地元マスコミの方々に
“お知らせする場”を提供できた事は非常
に良かったと思います。

[富山支店]

課長代理 国井 友生さん

している。今年六月に県
に認証申請し、九月に認
証を受ける見通しとい
う。
式では、西沢敏二同支
店長が「法人化により、
地域の社会福祉の向上に
一層貢献していただきた
い」とあいさつ。同会の
吉田勇次郎代表に通知書
を手渡した。吉田代表は
「今後、活動の幅を広げ、
地域全体を幸せにした
い」と礼を述べた。

NPO設立資金を助成 損保ジャパン、愛和報恩会に



助成決定の通知を受ける吉田代表
—富山市本町

民間の障害者、高齢者
福祉団体を支援する損保
ジャパン記念財団は八
日、八尾町西川倉の「愛
和報恩会」に、NPO法
を総合的に支援してお

り、農作業や食品加工な
どを展開している。十月
までにNPO法人の取得
が見込まれている。
富山市本町の同支店で
開かれた贈呈式では、損
保ジャパン富山支店の西
澤敬二支店長が、愛和報
恩会の吉田勇次郎代表
に、助成決定通知書を手
渡した。吉田代表は「活
動を通して、障害者の人
生全体を支援したい」と
お礼の言葉を述べた。
同財団は一九九九(平
成十一)年から、民間で
の福祉活動を推進させる
ため、NPO法人設立資
金を助成している。

◇NPO法人設立資金
を助成 損保ジャパン記
念財団が、障害者・高齢
者福祉の特定非営利活動
法人(NPO法人)設立
資金の本年度助成先を決定。関係分では「金沢メ
ンタルヘルスボランティア
クラブ」(金沢市、福
森隆子代表)と「愛和報
恩会」(富山県八尾町、
吉田勇次郎代表)が選ば
れた。同財団は全国10
0団体に各30万円を助成



福祉活動組織に
助成金30万贈る
損保ジャパン記念財団
(平野浩志理事長)の障害
者や高齢者の福祉活動に取
り組む団体を対象とした
「NPO(民間非営利)法人
設立資金助成」制度の助成
対象に、都留市を中心に活
動する「住まいるネットワ
ーク」(渡辺護理事長)が
選ばれ、七月二十九日、助
成金三十万円が贈られた。
同ネットワークは、高齢



助成金贈呈決定通
知書を手渡す深沢
克弥支店長(左)
|| 甲府市丸の内1
丁目の損保ジャパ
ン山梨支店
者の家庭内事故の
原因となる自宅の
段差や狭さを解消
するための改築案などを提
案し、安全で快適な住宅の
普及を目指している。
この日、甲府市丸の内1
丁目の損保ジャパン山梨支
店で贈呈式が行われ、深沢
克弥支店長が渡辺理事長に
助成金贈呈決定通知書を手
渡した。渡辺理事長が「有
効に活用したい」と感謝の
言葉を述べた。



13. 岐阜支店 岐阜新聞 (8/23)

大垣の障害者支援
団体に30万円寄付
損保ジャパン財団
損保ジャパン記念財団
(平野浩志理事長)は二十
一日、大垣市赤坂新町の
「障害者地域生活サポー
ト相談所 青空」(川上
孝浩理事長)に、NPO法
人設立の資金として助成
金三十万円を贈った。



同財団は、民間の福祉
活動を支援しようと、四

年前から助成金を寄付し
送迎サービスなどに取り
ている。今年是全国二百
六十五件の申し込みの中
から百件が選ばれ、県内
では福祉サービスの情報
提供、勉強会、高齢者の
柏谷智支社長(写真右)
から助成金を受け取る川
上孝浩理事長、大垣市旭
町、損保ジャパン大垣総
合支社

組む「青空」に贈られた。
同団体は、七月十五日に
NPO法人化した。
贈呈式は、大垣市旭町
の損保ジャパン大垣総合
支社で開かれ、柏谷智支
社長が「より一層地域に
根差した活発な活動をし
てください」とあいさつ
し、川上理事長に目録を
手渡した。

14. 松本支店 贈呈式写真



損保ジャングループのメセナ活動を広く
社員と地域の方に知ってもらおう大変良い機会。

また、現地(大垣)で贈呈先への連絡と同時に、
来賓として大垣市社会福祉協議会の方において
頂いたが、贈呈式後には和やかな情報交換が行わ
れました。当社会議室の使用を提供できた事にも
感謝!

協議会にも、今後NPO団体とどのように関わり
を持っていくのかという課題があるようで、当
社がこのような機会を通じてコーディネーター
役を果たせればと思います

[岐阜支店 大垣総合支社]
リーダー(支社長) 粕谷 智さん

15. 松本支店 市民タイムス (8/22)

発達障害児を支援する会

NPO設立へ助成金受ける

発達障害の一つとされ
るアスペルガー症候群の
子供たちが、集団の遊び
などを通して人間関係の
築き方や友人との交わり
方を学習・体験する事業
に取組んでいる、「長
野アスペ中南信親子お楽
しみ会」(事務局・穂高
町、降旗多鶴子代表)は
二十一日、損保ジャング
ループ(本部・東京)

から、NPO(民間非営
利団体)法人設立資金と
して、助成金三十万円の
交付を受けた。



NPO法人設立のた
めの助成金を受ける
降旗代表

同会は臨床心理士や保
育士らが定期的に、中南
信地方の約十人の子供に
一対一で接しながら各自
の特性を上手に伸ばす支
援をしたり、保護者への
集団カウンセリングや個
別相談などを実施してい
る。来月には県へNPO
法人の認証申請を行い、
今月末にはそのための設
立総会を予定する。
同財団は二十五年前か
ら福祉向上などの助成事
業に取り組み、今年是全
国の百団体に助成金を贈
る。贈呈式は松本市大手
三の損保ジャパン松本支
店(内田久登支店長)で
行い、降旗代表は「援助
いただき、感謝してい
る。広く参加できる会に
したい。継続的に子供を支援
したい。悩みなどのある
人は連絡してほしい」と
話した。
問い合わせは同会(電
話83・2745)へ。



NPO法人設立資金助成金の贈呈式—静岡市呉服町の損害保険ジャパン静岡支店

**NPO法人設立
2団体に助成金**
損保ジャパン記念財団
（東京都）はこのほど、
本年度のNPO法人設立
資金助成金三十万円を
「UDRP（ユニバーサ
ルデザイン・リサーチ
プロジェクト）」（静岡市、
勝亦威光代表）と「ママ

もって笑って」（袋井市、
村松恭子代表）に贈った。
「UDRP」は障害者の
実態調査、自立支援プロ
グラムの実施、技術者養
成などを目指し、八月に
NPO法人の認証を取得
する見通し。「ママもって
笑って」は児童デイサー
ビス事業の委託運営、ボ
ランティア養成講座の企
画運営などを予定し、認
証取得は八月の見込み。
勝亦代表が「障害のあ
る人たちが働ける環境づ
くりを励みたい」と抱負
を述べた。村松代表は「障
害児が社会生活を営める
よう地域の理解と生活環
境を整えていきたい」と
話している。
記念財団の創立は昭和
五十二年。平成十一年度
からNPO法人設立の助
成を始めた。本年度の助
成対象は全国で百団体。

ビジネス世界の外にも、頑張っている人々がいる。
こころ洗われた一日でした。
[浜松支店 磐田支社]
リーダー(支社長)倉嶋 朋男さん

**損保ジャパンが
助成金30万円**
袋井の知的障害
支援団体に寄贈
福祉団体のNPO法人
化を支援している損保ジ
ヤパン記念財団（東京都
千代田区）が、袋井市の知
的障害児支援団体「ママ
もって笑って」（村松恭子
代表）に助成金（三十万
円）を贈った。写真。

同団体は昨年末、同市
内の知的障害児の母親ら
十人で発足。地域の知的
障害児の各種支援事業を
行い、子供たちとその家
族が地域社会の中で生き
生きと生活できる環境づ
くりに取り組んでいる。
現在、NPO法人認証申
請を済ませ、八月末にも
認証を受ける見込み。
助成金を受け取った村
松代表は「人とのつなが
りを大切にした活動を実
践したい」と感謝した。



損害保険ジャパン愛知東支店(豊橋市白河町八、清水敏行支店長、電話053-2333155)は、このほど、特定非営利法人(NPO)「ラル・あゆみ」(ラル・あゆみ)事務局長谷市、畑和子(代表)の法人設立資金を助成した。

「ラル・あゆみ」を助成

損害保険ジャパン愛知東支店 NPOの設立支援



畑代表に目録を手渡す清水支店長(左)

今回の助成は、損保のための資金三十万円(平野浩志理事長)が今年度の提供を決定した。同財団は過去五年間で五百団体に合計一億五千万円を助成している。ラル・あゆみは、障害者や年輩者の外出を支援するグループ。一九九七年に設立された、車いす利用者の度(社会福祉助成金と)支援と交流を目的として、全国百の障害者・高齢者福祉団体に対「あゆみの会」を母体とし、各NPO法人設立体としている。(豊橋)

福祉NPO設立へ
県内3団体を支援
損保ジャパンの財団

財団法人損保ジャパン記念財団が、障害者・高齢者福祉に取り組む団体の法人化を支援するNPO法人設立助成金の贈呈式が、名古屋市中区丸の内(損害保険ジャパン名古屋支店)であった。

同財団は一九九九年より毎年百団体に助成をしている。本年度県内で助成を受けるのは「つくしの会」(名古屋市中種区)、「ドリーム」(名古屋市中村区)、「金曜グループ」(東郷町)の三団体。損保ジャパンの土田謙二名古屋支店長から代表者が目録を受け取った。

脳卒中による中途障害者を支援する「ドリーム」の谷本慎吾さん(右)はこのように支援していただけるのは本当にありがたい。地域の温かさに感謝して頑張る」と抱負を述べた。

贈呈式における社会福祉団体の皆さんの挨拶を聞いて、団体の成長を支援する記念財団の取り組みは非常に効果的であると感じた。

[名古屋支店]
リーダー(業務)
齋藤 真衛さん

毎年滋賀県の社会福祉団体・NPO法人が助成金を受け取っていただき、地域営業を行う支店・課支社のメンバーとして嬉しく思います。

滋賀県には琵琶湖という全国に誇れる自然財産を持っており、環境問題に県としていち早く取り組んでおり、環境問題・NPO団体への助成金の贈呈は意味深いものがあります。

[滋賀支店]
リーダー(業務)
向井 隆晃さん

NPO法人設立助成金を 損保ジャパン2財団贈呈

AZカンパニーなど3団体に



損保ジャパン記念財団と損保ジャパン環境財団の「NPO法人設立資金助成」制度に選ばれた県内3団体に25日、大津市の損保ジャパン滋賀支店で助成金各30万円が贈られた。全国で計308件

損保ジャパンの木村保明・滋賀支店長(右)から助成金を受け取る六角ふれあい広場管理運営委の森嶋克巳委員長の申請があり計12団体が選ばれた。県内は障害者の事業型作業所設立を目指す大津市の「AZカンパニー」▽独自の地域おこし活動を進める甲南町の「六角ふれあい広場管理運営委員会」▽赤野井湾の浄化に取り組む守山市の「豊稷の里 赤野井湾流域協議会」。